

令和6年度 波佐まちづくりセンターの主な取組

事業名

学びと出会いの場 “ときわカフェ”

P

●事業実施に至った背景、目的

この事業は、公民館で色々な事業をする中で、『みんなでおしゃべりできる場所が欲しい。昔の話も聞いてみたい。』など意見があった。そこで気軽に話し合える場所の提供や、地域づくりに目をむけるきっかけ作りになればと、平成29年4月より公民館サロン事業としてスタートし、8年目となる。今では研修等も取入れ、学び、そして参加者同士の交流も図り、集う場として取り組んでいる。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・センター内での打ち合わせ
- ・参加者へのアンケート

D

●事業の概要

場所：波佐まちづくりセンター 毎月第4火曜日 時間：9:00～11:00（月によっては変更有）

4月テーマ：“だまされない！そんなあなたがだまされている” 講師：浜田市消費生活相談員

6月テーマ：“交通事故防止と詐欺被害にあわないために” 講師：波佐駐在所 巡査長

交通事故の事例 DVD を見て話を聞く。

7月テーマ：“美しい自然を未来へつなごう！”『ハウスクリーニング』講師：くまハウス

8月テーマ：“島根大学医学生と一緒に！測って納得！健康チェック”

島根大学医学生と地域住民とセンターが一緒になり地域医療について学んだ。

（前半：健康チェック・体内組成測定 後半：医学生と話し合い）

9月テーマ：“季節の野菜を使って簡単なフレンチを紹介！”講師：フレンチシェフ

10月テーマ：“いざという時の救急法” 浜田消防の方に心肺蘇生・AEDの操作方法を教わる

11月テーマ：“防犯教室 流動型犯罪グループ『トリック』”について 講師：波佐駐在所 巡査長

12月テーマ：“一足早いクリスマス『ダミアンズの歌とトークで楽しもう！』

ダミアンズと一緒に歌ったり、コーヒータ임では、甘いお菓子とおしゃべりで楽しんだ

C

●事業実施後の振り返り

- ・研修内容も昨今問題視されていることや、防犯・救急など幅広い内容で開催した。参加者も関心を持っておられた。
- ・島大の医学生との取り組みは、診療所と地域住民、まちづくりセンターが一緒になって実施し、地域医療の問題や将来の波佐をみんなで考える良い機会となった。
- ・全体的に男性の方の参加が少ない。

A

●令和7年度以降の方向性

プログラムの内容は、一つが終了すれば次を考えるとといった状況である。地域の方はどんな内容を望んでいるのか、アンケートも実施したが、毎回の参加者は、同じメンバーとなってしまふ。1回1回の振り返りと年間計画を立てて実施する。多くの方に事業に参加してもらい、センターを利用してもらいたい。



4月



6月



7月



8月



9月



10月



11月



12月